

R5年度 事業名	ユークルさばえ各種講座運営事業			
R4年度 事業名	ユークルさばえ各種講座運営事業			
総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	若者が教養を深め交流を図るための講座を開設し、青少年の健全育成を図る。					
	概要	青少年を対象に教養講座を開設。料理、生花、書道（ペン習字・細筆）、抹茶、エアロピクス等の講座を行い、そのほか若者が望んでいるその時々課題とニーズに応じた特別講座を行う。					
	法令等 根拠 現在	青少年の雇用の促進等に関する法律（H27.10.1改正） 市直営	実施 形態	内容	市の職員が講座の企画、運営について事務を行っている。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	教養講座開講数		回	目標値	300	400	300	300	300
				実績値	332	253	479		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	教養講座受講者数		人	目標値	2,900	5,000	2,900	5,000	5,000
				実績値	2,925	2,537	5,051		
	計算 根拠	年間延べ講座受講者数	達成率	100.8	50.7	174.2			
			実数値						
			ランク	A	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,330	1,330	1,330	1,514	1,511		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,325	1,050	1,148	1,325			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	15	202	各種講座等運営費	1,511	1,511
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,511

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	0.75
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1ははい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1ははい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	広報による認知度アップとPR・昼間の時間帯における利用促進を図り、若者団体や若者育成団体との連携交流を進める。また、デジタル技術などを取り入れ、可能なことを実施していく。 青少年のニーズの把握に努め、外部団体等(県内外の大学生グループ、エコネット等)との連携による事業展開を図る。	

来年度へ向けて	R4年度の実績	コロナ禍により、ユースフェスタは中止となったが、概ね、講座等は開催しており、受講者数の評価指数については、達成できた。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	若者団体や若者育成団体との連携交流が課題である。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	引き続き、条例に基づき勤労青少年の福祉を増進するために、フェイスブック等のPRや昼間の時間帯における利用促進を図り、本事業を展開していくとともに、オンラインでの講座や会議などが可能となるような環境整備を実施するとともに、オンライン等による講座や会議の方法を検討していく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	公民館各種学級運営事業
R4年度 事業名	公民館各種学級運営事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	地域の実情や特性を考慮した家庭教育、女性支援等による学級、講座を実施し住民の学習ニーズに応え、地域教育力の向上、充実に図る。				
	概要	地域住民の家庭教育、女性支援事業、環境教育、人権教育等の学級・講座を開催し教育力の向上に努める。				
	法令等 根拠	社会教育法	実施 形態	内容 公民館主催の各種学級・講座の企画・運営。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	生涯学習講座・学級開催数(新講座を含む) ※～2021年度	回	目標値	50	100				
			実績値	64	148				
	生涯学習講座・学級開催全数(新講座を含む):統合により ※2022年度～	回	目標値			200	200	200	
			実績値			184			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	生涯学習講座・学級利用者数(新講座を含む) ※～2021年度	人	目標値	3,800	12,000				
			実績値	2,957	8,944				
	計算 根拠	年間利用者数	達成率	77.8	74.5				
			実数値						
	生涯学習講座・学級利用者全数(新講座を含む):統合に より ※2022年度～	人	目標値			12,000	12,000	12,000	
			実績値			10,636			
	計算 根拠	年間利用者数	達成率			88.6			
実数値									
		ランク	C	C	B				
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス禍により中止となった事業があった。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,373	4,345	3,957	5,943	6,062		事業タイプ	単独事業
	決算額	4,071	2,175	2,441	3,843			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	2	202	各種学級運営費	6,062	6,062
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	6,062

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	1.7
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	地域の実情に合わせた地域の教育力の向上に向けた講座を開催し、地域住民同士が学びあうことにより、公民館を生涯学習およびまちづくり推進の拠点施設として充実を図る。また、各種学級等には地区住民はもとより、市内すべての地区から参加できるようPRに努め、講座内容にも工夫を図っていく。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	地域の実情に合わせた地域の教育力の向上に向けた講座を開催し、地域住民同士が学びあうことにより、公民館を生涯学習およびまちづくり推進の拠点施設として充実を図った。また、地区住民はもとより、市内すべての地区から参加できる事業を追加し、PRにつとめた。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	令和4年度は、概ね講座等が実施できた。また、地区外の市民なども参加できる事業を追加しPRにつとめた。令和5年度は、郊外などの学習なども実施していく予定であり、以前の状況に戻していくよう事業を実施していく。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	引き続き、社会教育法第22条に基づき地域の実情や特性を考慮した家庭教育、女性支援、環境教育、人権教育等の学級、講座を開催し、教育力の向上を目指していくとともに、オンラインでの講座や会議などが可能となるような環境整備を実施するとともにオンライン等による講座や会議の方法を検討していく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	連合青年団活動費補助金
R4年度 事業名	連合青年団活動費補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	定例会、PRチラシの発行等を通して青年活動を高め、団結力を強めながら地域の活性化を図る。				
	概要	従来事業（研修、若越大会、他団交流研修）のほか、はたちのつどい実行委員会などに青年団として参加し、若者の顔が見える事業に協力している。青年団活動に対し事業補助を行う。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、実績報告のみの事務。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	リーダー研修会の開催・参加 ※2022年度まで		回	目標値	2	2	2		
				実績値	2	2	2		
	計算 根拠			達成率	100	100	100		
				実数値					
	社会教育活動等の開催・参加 ※2023年度から		回	目標値				4	4
				実績値					
	計算 根拠			達成率					
				実数値					
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	270	270	240	240	240		事業タイ	単独事業
	決算額	270	140	135	124			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,715	240	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	240

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 連合青年団として勤労青少年を中心とした若者同士の交流・団結および各地区青年団活動の活発化の促進を図るとともに、はたちのつどい実行委員会メンバーに対するサポート支援など本市事業に対する協力など、積極的な活動を支援するために事業補助を行う。

来年度の実績 R4年度 コロナ禍による活動制限がありながらも、連合青年団として社会参加・貢献を目指し、勤労青少年を中心とした若者同士の交流・団結および各地区青年団活動の活発化の促進を支援するため、事業補助を行った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 鯖江商議所青年部、鯖江青年会議所(JC)とともに組織した「NEXT SABAE実行委員会」での活動や、本市社会教育委員への参画など、様々な場面で活動拡大していく中、継続的に活動を支援するための事業補助が必要である。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 これまでの活動を踏まえた上で、「withコロナ」の時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	連合女性会活動費補助金
R4年度 事業名	連合女性会活動費補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	家庭や地域で女性の役割を認識し、豊かなふるさとづくりに努める。				
	概要	女性の社会活動として交通安全、食育学習、ごみ問題などに取り組んでいる。社会学習活動および組織強化活動等に対し事業補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	
現在	補助金等交付					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
独自事業の開催		回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	7	7		
計算 根拠			達成率	100	116.7	116.7		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	600	600	540	540	540		事業タイ	単独事業
	決算額	600	531	540	540	540		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,715	540	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	540

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 地域の女性の役割を認識し、女性会独自事業や関係団体との連携事業を実施していく。市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」を意識した事業展開ができるよう、市は補助金を交付する中で支援していく。

来年度の実績 R4年度 社会活動として交通安全、食育学習、ごみ問題などに取り組んでいる女性会に、社会学習活動および組織強化活動等に対する事業補助を行った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 地域の女性の役割を認識し、女性会独自事業や関係団体との連携事業を実施していく。市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」を意識した事業展開ができるよう、市は補助金を交付する中で支援していく。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 これまでの活動を踏まえた上で、「withコロナ」の時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	PTA連合会活動費補助金
R4年度 事業名	PTA連合会活動費補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内各単位PTA相互の連携を密にし、親と子の望ましい関係づくりと次代を担う青少年の健全育成を目指し、その方途を思慮して企画実践し、青少年教育の一層の充実を図る。				
	概要	家庭での食育、安全安心、家庭教育力の向上などに取り組んでいる。社会学習活動および組織強化活動等に対し事業補助を行う。				
法令等 根拠		実施 形態	内容 補助金申請、実績報告書のみの事務。			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	各単位PTA会長会の開催(～2021年度)		回	目標値	3	3			
				実績値	3	3			
	計算 根拠			達成率	100	100			
				実数値					
	連合会が実施した事業数(2022年度～)		回	目標値			4	4	4
				実績値			7		
	計算 根拠			達成率			175		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	180	160	160	250		事業タイプ	単独事業
	決算額	180	180	160	160			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,715	250
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	250

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計 点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	親と子の望ましい関係づくりと次代を担う青少年の健全育成を目指し、市内各単位PTA相互の連携ならびに青少年健全育成鯖江市市民会議との連携を密にし、青少年健全育成のより一層の充実を図るために事業補助を行う。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	家庭の教育力向上および社会学習活動ならびに組織強化活動を推進するための事業補助を行った。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	子どもを取り巻く環境は変化が激しく、予測が困難な時代である。親と子の望ましい関係づくりと次代を担う本市青少年の健全育成を目指し、より一層活動の充実を図っていくため支援が必要である。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、「withコロナ」の時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	壮年グループ連絡協議会活動費補助金
R4年度 事業名	壮年グループ連絡協議会活動費補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	社会の中核である壮年会の活動を活性化し、豊かな地域づくりを促進する。				
	概要	壮年グループ連絡協議会の活動費の補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		理事会議等の開催（～2022年度）	回	目標値	12	12	12		
				実績値	6	6	11		
	計算 根拠			達成率	50	50	91.7		
				実数値					
		社会教育活動等の開催・参加（2023年度～）		目標値				4	4
				実績値					
	計算 根拠			達成率					
				実数値					
				ランク	C	C	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス禍により中止となった事業があった。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	500	450	450	450		事業タイプ	単独事業
	決算額	500	435	382	450			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,715	450	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	450

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	社会の中核である壮年会の活動を活性化し、市内各壮年会の連携を図り豊かな地域づくりに貢献することを支援する。また、同協議会が実施している「高齢者宅の大型ごみ回収事業」等については、関係各課との調整を行うなどして、活動拡大の支援を行う。
来年度へ向けて R4年度の実績	コロナ禍ではあったが、後期高齢者支援事業(高齢者宅の大型ごみ回収事業)や防災危機管理の意識向上、やっしまつりなどを実施して、豊かな地域づくりへの貢献に対して支援した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	後期高齢者支援事業(高齢者宅の大型ごみ回収事業)や防災危機管理の意識向上、やっしまつりなどへの参加協力などを実施し、豊かな地域づくりへの貢献に対する継続的な支援が必要である。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、「withコロナ」の時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	やっしまつり事業交付金
R4年度 事業名	やっしまつり事業交付金

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ふれあいの里づくりを醸成するため、“やっしまつり”をとおして地域の活性化を図る。 ・かけがえのないわが街、鯖江を活性化するために昭和49年から鯖江市壮年グループ連絡協議会設立記念行事として開催されている“やっしまつり”をふるさと鯖江の伝統芸能の継承と地域のふれあい交流の場として定着させる。				
	概要	やっしまつりの活動費の交付				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		交付金申請、実績報告書のみの事務。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	まつりの開催回数			目標値	-	1	1	1	1
				実績値	-	-	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	まつりの参加者		人	目標値	-	2,200	2,200	2,200	2,200
				実績値	-	-	2,200		
	計算 根拠			達成率	-	-	100		
				実数値					
		ランク	-	-	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,700	2,700	2,400	2,400	2,700		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,700	0	0	2,400			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,715	2,700	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,700

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.04
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計 点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	本事業は、鯖江市無形民俗文化財の「やんしき踊り」を中心に、市民参加で作上げるイベントである。本年度は「古町、本町商店街通り」を会場として実施する。各市民団体が協力し、子どもからお年寄りまで楽しめる、事業を支援するために助成を行う。
来年度の実績	令和2年、令和3年はコロナ禍の影響で開催が中止されていたが、令和4年度は新型コロナウイルス拡大防止対策を実施した上で実施したため、事業実施を支援する助成を行った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	令和2年、令和3年はコロナ禍の影響で開催が中止されていたが、令和4年度は新型コロナウイルス拡大防止対策を実施した上でこれまでの「西山公園」から「古町、本町商店街通り」に会場を変更し、ステージ・出店等とやんしき踊りの輪の距離とがより近く、より身近な祭りと感じられるような一体感を醸成することができた。各市民団体が協力し、子どもからお年寄りまで楽しめる、事業実施を支援するために助成が必要である。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、「withコロナ」の時代に即した多様な取り組みを支援するため事業実施を支援するための助成を行っていく。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	こころの電話相談活動補助金
R4年度 事業名	心の電話相談活動費補助金

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与する。				
	概要	心の電話の活動費の補助				
	法令等 根拠		実施 形態	内容 補助金申請、実績報告書のみの事務。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標									
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024		
	※設定困難		目標値							
			実績値							
	成果指標									
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024		
	研修会の開催	回	目標値	7	7	7	7	7		
			実績値	5	10	8				
	計算 根拠	2月に1回以上の開催	達成率	71.4	142.9	114.3				
			実数値							
		ランク	C	A	A					
前年度 ランク B、Cの 理由										

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	45	45	40	45	45		事業タイプ	単独事業
	決算額	45	45	40	45	45		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,715	45	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	45

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与することを支援する。

来年度の実績 R4年度 電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与するための事業補助を行った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
新型コロナ禍の影響により、人と人とのふれあいがなくなり社会的なつながりを持っていない人が出てきている。健全な地域づくりに寄与することを支援するため、継続的な事業補助が必要。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
これまでの活動を踏まえた上で、「withコロナ」の時代を見据えた活動支援をするため、事業補助を行っていく。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	スカウト協議会活動費補助金
R4年度 事業名	スカウト育成会活動補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ボーイ・ガールスカウトの育成を図り、青少年の健全育成に寄与する。				
	概要	スカウト協議会の活動費を補助する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	
	現在	補助金等交付				

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	研修・訓練等事業開催回数		回	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	5	8	11		
	計算 根拠			達成率	100	160	220		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	90	90	80	90	90		事業タイプ	単独事業
	決算額	90	90	80	90	90		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,715	90	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	90

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 市内青少年がスカウト活動に参加することで健全な育成ができるよう、各団の活動を支援するとともに、各隊指導員の資質向上を図るために事業補助を行う。

来年度の実績 R4年度 市内青少年がスカウト活動に参加することで健全な育成ができるよう、各団の活動を支援するとともに、各隊指導員の資質向上を図るための事業補助を行った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
各隊指導員の資質向上および「withコロナ」の時代に即した多様な取り組みを支援するため、継続的な事業補助が必要である。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
これまでの活動を踏まえた上で、「withコロナ」の時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	はたちのつどい開催事業費			
R4年度 事業名	はたちのつどい開催事業費			
総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	UIターン者定住促進

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	はたちの門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図る。				
	概要	次代を担うはたちの門出を祝福するはたちのつどいを、有志による企画・運営にて実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		有志の実行委員会形式によるはたちのつどいの企画・運営。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	実行委員会開催数		回	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	6	6	6		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	成人式参加者率		%	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	66.9	77.7	84.6		
	計算 根拠	成人式出席者数 / 新成人数		達成率	83.6	97.1	105.8		
				実数値	502/750	626/806	621/734		
			ランク	B	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,765	2,840	1,680	2,251	2,355		事業タイ	単独事業
	決算額	1,703	2,839	1,601	1,989			経費区分	物件費

DO(実施)

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	203	はたちのつどい開催事業費	2,355	2,355
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,355

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない	
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ		
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある		
合計点数	12	判定	維持または事務改善

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	はたちの門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図る。また、有志によるはたちのつどい実行委員会が企画・運営に携わることで「ふるさと鯖江」の再発見につなげる取組とする。市連合青年団に実行委員会に関わってもらうことで、はたちに連合青年団の活動を理解してもらえるよう支援していく。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	はたちの門出を祝福する式典を文化センターで開催し、次代を担う青年の健全育成を図った。また、自らがはたちのつどい実行委員会のメンバーとなり、企画・運営に携わることで「ふるさと鯖江」の再発見につなげた。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4年度は文化センターで1回の開催とした。※送迎で式典に参加される方の降車場所について、分かりにくいなどの声があったため、R5年度には、なんらかに対応していきたい。同様に文化センターで1回に実施予定である。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	はたちの門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図る。また、有志によるはたちのつどい実行委員会が企画・運営に携わることで「ふるさと鯖江」の再発見につなげる取組とする。※令和4年度の式典終了後、文化センター前駐車場が満車となるなど混雑していたため、警備員などの時間を延長するなどして交通の円滑化につなげた。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	青少年健全育成鯖江市民会議事業補助金
R4年度 事業名	青少年健全育成鯖江市民会議事業補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民の総意を結集し、青少年の健全育成や非行防止等の活動推進を図る。				
	概要	青少年育成等に関する各種団体の緊密な連携により、全域あけての青少年育成を図り、青少年健全育成の推進に向け、家庭教育啓発機関紙(はぐくみ)の発行を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、事務補助、実績報告書の事務。	
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	青少年の健全育成や、非行防止等の活動推進を図る市民大会等の開催(H30年度は県民大会実施)	回	目標値	-	1	1	1	1
			実績値	-	-	1		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	青少年の健全育成や、非行防止等の活動推進を図る市民大会等の参加者数(H30年度は県民大会参加者数)	人	目標値	-	200	200	200	200
			実績値	-	-	274		
	計算 根拠	少子化の現状の中で、参加者数を維持	達成率	-	-	137		
			実数値					
	ランク		-	-	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,650	3,650	3,200	3,200	3,200		事業タイ	単独事業
	決算額	3,650	3,063	2,050	3,200			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	6	602	青少年育成市民会議等補助金	3,245	3,200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,200

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止 維持または事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	会員が問題意識を共有し、意識を向上させるために、特にいじめや犯罪につながるSNSやネット利用などの情報モラルをはじめ、学校現場や急激に変化する情報環境など、青少年に関わる問題について把握していく。さらに、迅速かつ柔軟に対応するための研修会等を開催しながら、市民会議全体はもとより会員がそれぞれの団体、地域で、青少年の健全育成に取り組むことができるよう情報共有と連携を図っていく。引き続き、青少年健全育成の推進に向け、家庭教育啓発紙(はぐくみ)を発行していく。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	コロナ禍ではあったが、総会や市民大会などを実施して、また、各部会などの取組みも実施した。青少年健全育成の推進に向け、活動を実施していた。青少年の健全育成や非行防止等の活動推進を図る市民大会は、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止となったが、各部会に分かれての実施可能な取組みについては、実施した。青少年健全育成の広報活動として、家庭教育啓発紙(はぐくみ)を年2回発行した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	令和4年度は、コロナ禍ではあったが、総会や市民大会などを実施して青少年健全育成の推進に向け、活動を実施していた。令和5年度についても、同様に実施していきたい。また、若い世代の運営参加や中学生の意見を聞くなどの取組みを検討している。また、コロナ禍での可能な取組みを市民会議全体はもとより会員がそれぞれの団体、地域で、青少年の健全育成に取り組むことができるよう、今後も情報共有と連携を図っていく。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	今後も市民の総意を結集し、青少年の健全育成や非行防止の活動推進を支援していく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	少年警察協働員会事業補助金
R4年度 事業名	少年警察協働員会事業補助金

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努め、世論の啓発により少年の健全育成を図る。				
	概要	少年警察協働員会への活動のための補助金				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	
	現在	補助金等交付				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	少年の非行防止と健全育成を目的とした啓発事業の実施		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	6	13	12		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	少年の非行防止と健全育成を目的とした行事等の従事者数		人	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	27	27	27		
	計算 根拠			達成率	135	135	135		
				実数値					
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	45	45	40	45	45		事業タイプ	単独事業
	決算額	45	45	40	45	45		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	6	602	青少年育成市民会議等補助金	3,245	45	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	45

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努め、市民への啓発を通して青少年の健全育成を行っている少年警察協働委員会の活動のための補助を行う。
来年度の実績	R4年度 自転車防犯診断、補導活動等、市民への啓発を通して青少年の健全育成を行っている少年警察協働委員会の活動補助を行った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努めていく。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	少年の非行防止と福祉の増進や世論の啓発により少年の健全育成を図る活動をしている団体であり、見守り活動や学校などでの自転車防犯診断や街頭補導活動など非常に重要な役割を果たしている。2021年度に団体から先の補助金減額により、事業の実施に苦慮している旨の報告があり、2022年度には、補助金の額を元に戻している。今後も、青少年の健全育成を行っている少年警察協働委員会の活動補助を行っていく。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	<input type="text" value=""/>
市民主役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value=""/>
市民主役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	放課後子ども教室推進事業
R4年度 事業名	放課後子ども教室推進事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	全ての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、子どもの健全育成を図る。				
	概要	地域住民の参画を得て、子どもとともに勉強やスポーツなどに取り組み、安全・安心な居場所を整備する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	放課後子ども教室の企画・運営。		
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
開所公民館数		地区	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10		
計算 根拠	放課後子ども教室の開所している地区公民館数	達成率	100	100	100			
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,772	6,373	5,685	6,189	6,149		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	5,758	3,257	4,287	5,265			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	2	203	放課後子ども教室推進事業費	7,451	6,149	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,149

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	社会教育活動費補助金(県1/3)	1,919
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,919

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 地域のボランティアの参画を得て、文部科学省の推進する安全・安心な居場所づくりに努めるとともに、実施内容の充実を図る。

来年度へ向けて R4年度の実績 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めつつ、各地区公民館において、安全・安心な子どもたちの活動拠点拠点を設け、健全育成を図った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めつつ、各地区公民館において、安全・安心な子どもたちの活動拠点拠点を設け、健全育成を図った。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 新型コロナウイルス感染拡大防止しつつ、今後も、コロナ禍においても安全・安心な子どもたちの居場所づくりに努めるとともに、事業の実施内容の充実を図っていく。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	公民館合宿通学事業
R4年度 事業名	公民館合宿通学事業

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	様々な地域資源を活用して、放課後や週末等における子どもの活動支援や生活体験を通じた地域の教育力の活性化を図る。				
	概要	地域の公民館に宿泊しながら、親元を離れて共同生活を行い、学校へ通うことにより、地域の人たちの協力により簡単な生活習慣の習得支援や地域住民との交流を深めるとともに、地域の教育力の向上を図る。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	地域住民による地区実行委員会に業務を委託する。	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	学校への説明会議		回	目標値	-	7	7	7	7
				実績値	-	7	8		
	校長会への説明会議		回	目標値	-	1	1	1	1
				実績値	-	1	1		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	実施公民館数		館	目標値	-	7	7	7	7
				実績値	-	5	9		
計算 根拠	合宿通学事業を実施した公民館数	達成率	-	71.4	128.6				
		実数値							
		ランク	-	C	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,386	1,386	1,282	1,302	1,302		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	992	0	453	414			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	2	203	放課後子ども教室推進事業費	7,451	1,302
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,302

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	社会教育活動費補助金(県1/3)	406
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	406

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	1.7
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 コロナ禍から回復している状態ではあるが、合宿通学事業には、多数のボランティアの方の参加が必要となるため、原則宿泊を伴わない事業として実施する。

来年度の実績 R4年度 コロナ禍のため、宿泊、飲食を伴わない半日帰り形式で、9地区(鯖江、新横江、中河、片上、立待、吉川、豊、北中山、河和田)にて実施した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
令和4年度は、コロナ禍のため、宿泊、飲食を伴わない半日帰り形式で実施した。令和5年度は、5月8日より5類へ移行したことにより、飲食を伴わない半日実施に限定せず、原則日帰りを推奨するものの、地区の判断による宿泊も可とし、宿泊を伴わない公民館学級形式での事業実施と宿泊を伴う事業実施の形式を混在させながら、9地区での開催を目指す。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
令和5年5月8日の5類移行により、令和5年度は一部地区の判断による宿泊を再開したことを踏まえ、希望する地区は宿泊を可とし、公民館学級形式がなむ地区においては引き続き公民館学級形式で実施していく。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

R6年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	光でつなぐ家族の絆事業			
R4年度 事業名	光でつなぐ家族の絆事業			
総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進

PLAN (計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	青少年健全育成のための環境づくりとして、家庭や家族ふれあいの普及啓発活動等を行うことで次代を担うひとづくりを推進する。				
	概要	「地域や家庭の教育力向上」の推進に向け、親と子の絆を深め、甯江の未来を担う子どもたちの育成事業の実施に取り組む。市民主役条例に基づき提案型市民主役事業として、光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション事業)を行う。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(全部)		市民主役事業提案団体が企画、運営。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報誌、HP等でのPR回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション事業)応募家族数	組	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	50	50	50		
	計算 根拠	H25より「家族ふれあい写真コンテスト」(目標値100点)が廃止	達成率	100	100	100		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	843	753	715	740	715		事業タイプ	単独事業
	決算額	843	753	715	740			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	6	201	青少年健全育成諸経費	931	715	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	715

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	80

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	提案型市民主役事業で実施している「家族のふれあい光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション装飾)事業(R3~R5複数提案採択事業)」等の実施により、親子の絆を深め、鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組む。
来年度へ向けて	R4年度実績 「家族のふれあい光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション装飾)事業(R3~R5複数提案採択事業)」を提案型市民主役事業として実施し、西山公園を会場に家族ごとにモニュメントにLEDライトを装飾し、家族の願い事を記入した短冊をつけ、10/31~12/26までの期間、中央広場付近に展示することで、親子の絆を深め鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組んだ。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	既に西山公園の冬の風物詩となっているこのイルミネーションについて、教育委員会として青少年健全育成の枠を超えて、観光的な視点も含めて実施することを所管換えを含め検討する余地がある。例年実施する事業展開の中で、コスト削減できる工夫がないかを検討する必要がある。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	今後も提案型市民主役事業として実施することで、親子の絆を深め鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組んでいくとともに、委託業者と事業展開について検討していく。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

R5年度事業名	光でつなぐ家族の絆事業	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	715
R6年度事業名	光でつなぐ家族の絆事業	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	715

取組可能な事業の詳細⇒